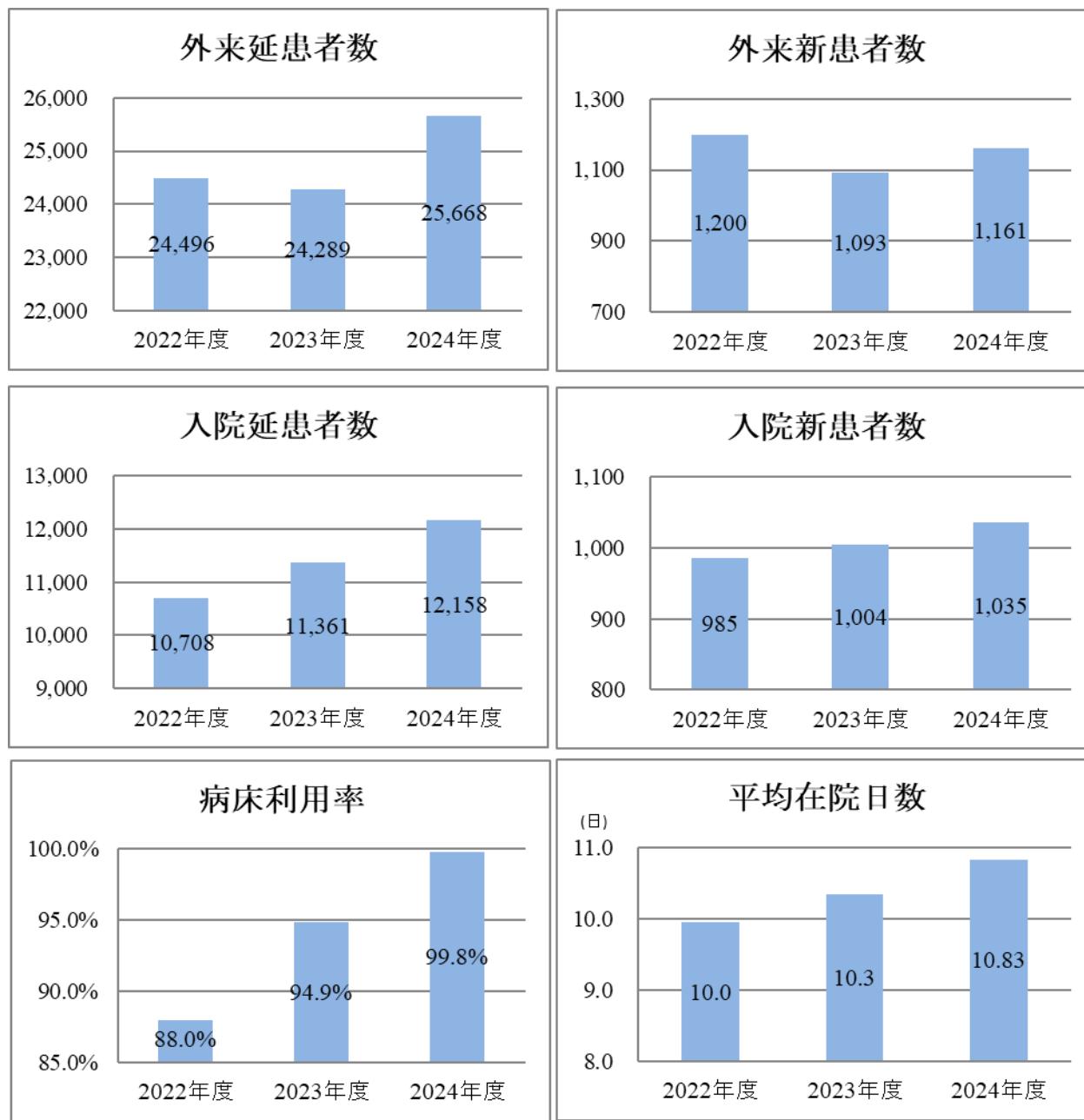


2-3 消化器内科

診療実績



研究・教育活動

【原著（英文）】

1. Om R, et al. Retrograde Transcaval Obliteration for Refractory Hepatic Encephalopathy with Multiple Intrahepatic Portosystemic Venous Shunts. *Intern Med.* 2024; 63: 969-973.
2. Nomura K, et al. Small Intestinal Arteriovenous Malformation Treated by Double-balloon Endoscopy. *Intern Med.* 2024; 63: 2131-2135.
3. Ikeda Y, et al. Hepatitis B surface antigen (HBsAg) glycan isomer is predictive of HBsAg

- seroclearance in patients with chronic hepatitis B. *Hepatol Res.* 2024; 54: 888-898.
4. Sanyal AJ, et al. A Phase 2 Randomized Trial of Survodutide in MASH and Fibrosis. *N Engl J Med.* 2024; 391: 311-319.

【原著（和文）総説】

1. 玄田拓哉. 肝移植の適応条件と適応疾患. 日本肝臓学会編 肝臓専門医テキスト改訂第4版. P286-287.
2. 玄田拓哉. 脳死肝移植の臓器分配. 日本肝臓学会編 肝臓専門医テキスト改訂第4版. P289-290.
3. 玄田拓哉. 急性肝炎. 医学書院 今日の治療指針 2025. P531-P532.
4. 佐藤俊輔、他。肝硬変に伴う難治性腹水に対するトルバズタン投与後早期の血清ナトリウム値変化と生命予後との関連。日本門脈圧亢進症学会雑誌 30巻1号 2024. Page30-35.

【学会発表（国際）】

1. Shimada Y, et al. Characteristics of endoscopic findings of PPI/P-CAB-related gastropathy for patients using each antacid. DDW, Washington D.C., USA, 18-21 May 2024
2. Sato S, et al. Steatotic liver disease with normal liver function: Clinical use of ultrasound attenuation method and shear wave elastography, EASL Congress, Milan, Italy, 5-8, June 2024.
3. Sato S, et al. Fibrosis in asymptomatic steatotic liver disease with normal alanine aminotransferase: analysis of 2448 health check-up cohort by ultrasound attenuation imaging and shear wave elastography. APASL STC on MASLD, Kaohsiung, Taiwan, 28, June, 2024.
4. Shimada Y, et al. Characteristics of web like mucus as an endoscopic finding of PPI/P-CAB related gastropathy. UEGW, 12-15 October 2024.
5. Shimada Y, et al. Comparison of gastric ulcer cases in patients taking warfarin or DOACs. UEGW, 13 October 2024.

【学会発表（国内）】

1. 嶋田 裕慈、他。DAPT 症例における胃粘膜傷害の性差に関する検討。第 110 回日本消化器病学会総会、徳島、2024 年 5 月 10 日
2. 佐藤俊輔、他。肝機能正常脂肪肝 超音波減衰法を用いた早期診断の臨床的意義。日本超音波医学会第 97 回学術集会、横浜、2024 年 5 月 31 日
3. 池田裕至、他。肝硬変患者の免疫異常は ACLF 発症準備状態か？第 50 回日本急性肝不全研究会、熊本、2024 年 6 月 12 日
4. 池田裕至、他。血中炎症性サイトカイン IL-6 高値は肝硬変患者の非代償症状悪化と関連する。第 60 回日本肝臓学会総会、熊本、2024 年 6 月 13 日
5. 寺井 雄一朗、他。混合性結合組織病に合併した特発性門脈圧亢進症により難治性肝性脳症を呈した一例。第 60 回日本肝臓学会総会、熊本、2024 年 6 月 13 日。
6. 村田礼人、他。B 型慢性肝炎患者に対するエンテカビル長期投与における薬剤耐性出現率とその予

測因子。第 60 回日本肝臓学会総会、熊本、2024 年 6 月 13 日-14 日。

7. 佐藤俊輔、他。Inactive/Active HCC に対する DAA 治療の成績と意義。第 60 回日本肝臓学会総会、熊本、2024 年 6 月 14 日。
8. 嶋田 裕慈、ほか。当院におけるおよそ 10 年間の除菌治療、除菌率の傾向。第 30 回日本ヘルコバクター学会学術集会、倉敷、2024 年 6 月 21 日。
9. 永合浩己、他 血管塞栓術前後の内視鏡所見を確認した結腸動静脈奇形の一例 日本消化器病学会 東海支部第 140 回例会、愛知、2024 年 6 月 22 日
10. 佐藤俊輔、他。ALT 正常脂肪肝と肝線維化：ATT / SWE を同時測定した健診データ 2397 例の解析。第 10 回肝臓と糖尿病・代謝研究会、兵庫、2024 年 7 月 6 日。
11. 加藤蓉子、他。内視鏡的粘膜下層剥離術が診断に有効であった食道類基底細胞癌の一例。第 380 回 日本消化器病学会 関東支部例会 2024 年 7 月 27 日。
12. 佐藤俊輔、他。エコーで実現する脂肪肝の地域包括アプローチ：健診センター ⇄ 大学病院の実例をふまえて。第 65 回日本人間ドック・予防医療学会学術集会、横浜、2024 年 9 月 7 日。
13. 山口征大、他。非ステロイド性抗炎症薬とプロトンポンプ阻害薬が原因と考えられた collagenous colitis の一例。第 254 回日本内科学会東海地方会、静岡、2024 年 10 月 6 日。
14. 巍 理華、他。内視鏡的破碎を複数回行うことによって巨大胃石を完全除去した 1 例。第 254 回 日本国内科学会東海地方会、静岡、2024 年 10 月 6 日
15. 池田裕至、他。HBsAg glycan isomer (HBsAgGi) is predictive of HBsAg loss in patients with chronic hepatitis B. JDDW 2024、神戸、2024 年 10 月 31 日
16. 嶋田 裕慈 他。白点と蜘蛛の巣様粘液は果たして Vonoprazan 内服に特化した所見として良いのか。JDDW 2024、神戸、2024 年 10 月 31 日。
17. 佐藤俊輔、他。SVR 後の肝がんサーベイランスをいつまで続けるべきか インターフェロン治療後 長期観察例の解析。JDDW、神戸、2024 年 10 月 31 日。
18. 北 祐次、他。肝硬変患者の初回非代償症状出現に寄与する因子の解析：血中炎症性サイトカイン IL-6 上昇と非出血症状発症リスク。JDDW 2024、神戸、2024 年 11 月 1 日。
19. 山口征大、他。非代償症状として II 型呼吸不全で発症した Pickwick 症候群合併非 B 非 C 型 肝硬変の一例。第 45 回日本肝臓学会東部会 宮城 2024 年 12 月 6 日。
20. 北 祐次、他。当院における難治性腹水に対する腹腔静脈シャントの治療成績。第 45 回日本肝臓学会東部会、仙台、2024 年 12 月 6 日。
21. 加藤蓉子、他。尿細管間質性腎炎に合併した原発性胆汁性胆管炎の 1 例。第 45 回肝臓学会東部会 2024 年 12 月 6 日。
22. 池田裕至、他。肝硬変患者の免疫異常は ACLF 発症準備状態か？第 45 回日本肝臓学会東部会、仙台、2024 年 12 月 6 日
23. 加藤蓉子、他。アルコール関連 Acute on Chronic Liver Failure (ACLF)に対し生体肝移植を行った一例。第 383 回 日本消化器病学会 関東支部例会 2025 年 2 月 15 日。